

## 《 83期 年間重点事項 》

### 1. 2024年度 全社安全衛生目標

- ※目標値
- ・度数率 0.40 以下
  - ・強度率 0.02 以下

### 2. 重点方針

- (1) 墜転落災害・飛来落下災害と重機（クレーン・車輛系）災害の根絶
- (2) 高温下での作業に伴う災害防止
- (3) リスクアセスメントの確実な実践と、外国人労働者への教育強化
- (4) 健康及びメンタルヘルスに配慮した安全な職場環境の形成

### 3. 重点施策

#### (1) 墜転落災害・飛来落下災害と重機（クレーン・車輛系）災害の根絶

- ① 『開口部ゼロ』対策の実践と指差呼称、音声標識等の標準設置による注意喚起の強化（落下防止設備の先行設置と維持管理の強化）
- ② 玉掛け作業時の『3・3・3運動』の定着及び吊荷直下の立入禁止の徹底
- ③ 重機区画と誘導者配置の徹底、作業計画に基づく安全対策の確実な実施

#### (2) 高温下での作業に伴う災害防止

- ① 健康KYによる健康状態の把握と適正配置の実施（空調服着用・体調不良時の報告徹底）
- ② WBGTに応じた休憩と水分・塩分補給の摂取（熱中症対策の環境整備）
- ③ 声掛けにより注意力低下に伴う事故・災害の防止
- ④ 救急車手配に至らないよう、早期に作業をやめさせる。

#### (3) リスクアセスメントの確実な実践と、外国人労働者への教育強化

- ① 安全基本3行動『ひと声かけ、現地KY、ひとりKY』実践の定着
- ② 適切な指揮系統（安全衛生責任者・作業主任者・外国人指導員等）による安全管理の強化
- ③ 外国人労働者の適正配置、作業中の指導及び作業確認の強化
- ④ 化学物質リスクアセスメントの徹底

#### (4) 健康及びメンタルヘルスに配慮した安全な職場環境の形成

- ① 残業時間抑制（4週8休）による心身の健康確保
- ② 「健康経営宣言」に基づく快適な職場環境への環境整備（分煙・女性用トイレの設置等）
- ③ 高齢作業員の適正配置と作業内容の確認
- ④ 法令違反の防止（法令順守の指導・「万が一の場合」の報告の徹底）

### 《年間スローガン》

**安全**：危険は 慣れと 油断と 気のゆるみ 抜くな点検！ 省くな手順！

**環境**：分ける知識と ひと手間で 資源増やして ごみ削減  
ゼロエミ目指して 次世代へ

## 2月) 飛来・落下災害の防止

- ①足場・型枠支保工の組立・解体等の作業、構築物の取り壊し等の作業にあたっては安全ネット・朝顔及び投下設備を設置するとともに、作業主任者・作業指揮者・合図者・監視人の配置、並びに立入禁止の措置を講じる。また、使用工具等の落下防止（紐やワイヤー等）を取り付ける。
- ②外部足場解体作業における2 m以上の高所では、インパクトレンチの使用は禁止とする。（ラチェットレンチを使用する）
- ③高所に材料等を仮置きする場合には、開口部等に接近して置かないようにし、巾木の設置・ロープ掛け等の措置を講じる。
- ④長尺物を仮置きする場合には、ロープ等で結束し、風・振動等による倒壊、または落下防止の措置を講じる。
- ⑤資材置き場等での荷の積み上げは、荷崩れによる災害を防止する為、高さを2 m程度にとどめさせる。但し、2 mを超えるはい付け、はいくずし作業は、はい作業主任者のもとに行う。  
※ はい作業の“はい”とは：積み重ねられた荷の集団のことをいう。  
但し、碎石等のばら物の荷は除く）
- ⑥資材運搬車両への荷の積込み、荷降ろし時の墜落・転落のないよう足場、作業床を確保する。（可搬式作業台等の設置）また、荷の落下にも十分注意する。  
※ 資材運搬車両の荷の上での作業は、高所作業となるので墜落・転落防止措置を講ずる。
- ⑦工作物の解体は、作業方法・使用機械・立入禁止区域・倒壊及び飛来・落下災害の防止方法等を盛り込んだ作業計画によって実施させる。  
※ 作業所関連書類 施工計画事前検討会チェックリスト参照
- ⑧作業所長は、作業所内に第三者の侵入による事故・災害の防止と、盗難防止のため仮囲い、バリケード等を設置し外部と区画する。尚、結束番線等を使用する場合は外部への突出を無くしておく。
- ⑨年少者、未熟練者、及び女性労働者、新規入場者は一人作業をさせない配置をする。
- ⑩春一番等の強風対策を行う。
  - ・足場の壁つなぎ位置、設置方法、仮囲いの控えの状態等の点検整備
  - ・飛散物の養生（コンパネ、シート類、断熱ボード等）
  - ・防水工事等における火気の取扱い
  - ・ホコリ、粉じんに対する散水、残土ストックヤードの土埃養生